

経営会議の内容

件 名	下水道使用料改定について
所 管 部	都市施設部
日時・場所	平成２４年 ７月 ３日（火）１０：５０ ～ １１：３０ 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、都市施設総務課長
提 出 理 由	下水道使用料改定を下水道運営審議会に諮問するにあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	【主な意見等】 ・経営努力はどのようなことを実施してきたのか。 （所管部）人件費の削減と下水道使用料回収率の増加を目的に水道料金と下水道使用料の一括徴収を実施した。また、北部・中部浄化センターにおける包括民間委託の導入により、運営経費を削減した。 ・市では平成２０年度に使用料の改定を検討していたが、当時の経済状況を勘案し改定を見送っている。今回の改定は現在の経済状況を勘案して問題はないのか。 また、改定を検討するに至った背景は何か。 （所管部）平成２０年度に改定を予定していた時期は、国が緊急経済対策を実施するなど、景気が低迷していた。現在は内閣府の景気ウォッチャー調査においても、当時より上向きの景気判断が示されているため、改定を行いたい。 また、改定の背景には、大和市は一般会計から多額の繰り入れをして下水道事業を実施しているにも関わらず、県内他市の水準と比較し、かなり低い下水道使用料となっていることがある。下水道事業を安定的に運営し、一般会計からの繰り入れを抑制するためにも下水道使用料の改定は止むを得ないものと考えている。
会議結果	案のとおり、進めていく。